

TOOLS for MR V1.7.1 for Mac Release Notes

TOOLS for MR V1.7.1 for Mac は以下のプログラムで構成されています。

- Yamaha Steinberg FW Driver V1.7.0
- Steinberg MR Editor V1.6.0
- Steinberg MR Extension V1.7.1

目次

[ソフトウェアの動作環境](#)

[主なアップデートの内容](#)

[過去のアップデートの内容](#)

ソフトウェアの動作環境

NOTE

- お使いの OS によっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。
- 各社 DAW の動作環境については、それぞれの取扱説明書をご参照ください。
- TOOLS for MR の最新バージョン、動作環境については、下記 URL に最新情報が掲載されています。

http://service.steinberg.de/goto.nsf/show/supportupdates_mr816_j

OS	Mac OS X 10.5.8/Mac OS X 10.6.x
CPU	Intel プロセッサー
インターフェース	FireWire ポートを搭載したもの
ハードディスク	350MB 以上の空き容量、高速なハードディスク
その他	Cubase との連携機能をお使いの場合、Cubase のバージョン 5 以降

最低動作環境

	CPU	メモリー
Mac OS X 10.5	Core Solo 1.5GHz 以上	1GB 以上
Mac OS X 10.6	Core Solo 1.5GHz 以上	1GB 以上

主なアップデートの内容

V1.7.0 → V1.7.1

以下にプログラム別で説明します。

Steinberg MR Extension

V1.7.0 → V1.7.1

- パフォーマンスを改善しました。

過去のアップデートの内容

V1.6.0 → V1.7.0

- Yamaha Steinberg FW Driver が Mac OS X 10.6 の 64 ビットカーネルに対応しました。
 - Cubase 6(32 ビット版/64 ビット版)に対応しました。
 - 動作環境を変更しました。以下の環境が必要です。
 - Mac OS X 10.5.8 または 10.6.x
 - Intel プロセッサーを搭載した Mac
 - Cubase との連携機能をお使いの場合は、Cubase のバージョン 5 以降
- 詳細は、「[ソフトウェアの動作環境](#)」をご参照ください。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.6.0 → V1.7.0

- 3 台の Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器を接続して、サンプルレートを 96kHz に切り替えた状態で Cubase のプロジェクトファイルを開くと、プロジェクトファイルが開けないことがある問題を修正しました。
- 3 台の Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器を接続して、サンプルレートを 88.2kHz 以上から 48kHz 以下に切り替えたときに、Yamaha Steinberg FW Driver に認識される 3 台めの機器をクロックマスターにできなくなる問題を修正しました。
- クロックソースを切り替えたあと、Yamaha Steinberg FW Driver 対応機器が発音するまでに時間がかかることがある問題を修正しました。
- Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルで、クロックソースの同期/非同期が正しく表示されないことがある問題を修正しました。
- Mac OS X 10.5 および 10.6 で、ログアウトしたあとにログインすると、「Failed to initialize」というエラーメッセージが表示されることがある問題を修正しました。
- Mac OS X 10.6 で、インストールされた Yamaha Steinberg FW Driver のファイルの情報を開いたときに、表記の一部が正しく表示されない問題を修正しました。

V1.5.1 → V1.6.0

以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.5.1 → V1.6.0

- ファイヤーワイヤーエクスパンションボード「ヤマハ FW16E」に対応しました。
Yamaha Steinberg FW Driver を削除する場合は、MR816 CSX/MR816 X セットアップガイドの「ソフトウェアのアンインストール」に記載しているファイルのほかに、次のファイルも起動ディスクから削除してください。
/ライブラリ/Audio/MIDI Devices/Yamaha/Images/
FW_11000B.tiff
FW_11000C.tiff
FW_11000D.tiff
- オーディオ入出力が、より早く開始されるように改善しました。

Steinberg MR Editor

V1.5.1 → V1.6.0

- ファイヤーワイヤーエクスパンションボード「ヤマハ FW16E」に対応しました。

Steinberg MR Extension

V1.5.1 → V1.6.0

- Cubase 5.5/Nuendo 5 で Channel Strip/REV-X 設定画面の一部が正しく表示されない問題を修正しました。
- Cubase 5.5/Nuendo 5 で Hardware Setup 画面の一部が正しく表示されない問題を修正しました。
- Cubase 5 以降で Channel Strip 設定画面上のパラメーターに数値を入力したあと、Channel Strip 設定画面が操作できなくなる問題を修正しました。
- MR816 CSX/MR816 X 本体の電源がオフのときに、Cubase を操作するとクラッシュすることがある問題を修正しました。
- Cubase のプロジェクトファイルを開いた直後、MR816 CSX/MR816 X の出力が一瞬大きくなることのある問題を修正しました。
- プロジェクトテンプレート「Steinberg MR816CSX Vocal-Inst Recording 1」を開いたときに、Channel Strip の設定の一部が正しく初期化されていない問題を修正しました。
- 複数台の MR816 CSX/MR816 X を使用しているときに、複数の Cubase のプロジェクトファイルを同時に開いた状態でプロジェクトファイルを切り替えると、クラッシュすることがある問題を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

V1.5.0 → V1.5.1

- TOOLS for MR が Mac OS X 10.6 で動作することを確認しました。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.5.0 → V1.5.1

- 軽微な不具合を修正しました。

Steinberg MR Editor

V1.5.0 → V1.5.1

- 軽微な不具合を修正しました。

Steinberg MR Extension

V1.5.0 → V1.5.1

- ダイレクトモニタリングがオンのときに、オーディオトラックのモニタリングボタンのオン/オフを切り替えると、切り替わるタイミングがオーディオ出力ごとにずれる問題を修正しました。

V1.2.0 → V1.5.0

以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.1.0 → V1.5.0

- Yamaha Steinberg FW Driver のインストールが完了した直後に、「システム環境設定」から Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルが開かないことがある不具合を修正しました。
- PowerPC 搭載の Macintosh を使用している場合、接続している MR816 CSX/MR816 X の電源をオフにすると、Yamaha Steinberg FW Driver の CPU 使用率が高くなる不具合を修正しました。

Steinberg MR Editor

V1.2.0 → V1.5.0

- MR Editor の Scene に保存されるパラメーターに、次の 4 つを追加しました。
 - ソロ
 - Digital I/O, External FX
 - Sweet Spot Morphing Ch. Strip

- External FX Type

Steinberg MR Extension

V1.2.0 → V1.5.0

- Hardware Setup 画面が新しくなりました。主な変更点は次のとおりです。
 - 「Master Levels」タブを追加しました。ここでは、アナログ/デジタルそれぞれのマスターレベルをコントロールできます。
 - 「Settings」タブを追加しました。ここでは、デジタルオーディオ信号を入出力する端子を選択したり、Sweet Spot Morphing Channel Strip エフェクトを挿入するチャンネルを選択したりできます。
 - レベルを調整するパラメーターを、キーボード上の[Ctrl]/[command]キーを押しながらクリックすることで、ノミナル(0.00dB)に設定できるようになりました。
 - レベルの表示を「dB」に変更しました。
- Rev-X の任意のパラメーターを、キーボード上の[Ctrl]/[command]キーを押しながらクリックしたときに、正しい初期値が設定されない不具合を修正しました。
- Cubase のプロジェクトファイルを開いたときに、プロジェクトファイルに保存された Reverb のパラメーターが正しく復元されないことがある不具合を修正しました。
- Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネルで、「Sweet Spot Morphing Ch. Strip」を「Digital Input」に設定しているときに、Cubase のミキサーに表示される MR816CSX/MR816X 入力設定画面の「+48V」/「PAD」インジケーターが正しく表示されない不具合を修正しました。
- MR816 CSX/MR816 X 本体のサンプリング周波数と Cubase のプロジェクトファイルのサンプリング周波数が異なる状態でプロジェクトファイルを開いたときに、サンプリング周波数や Digital I/O, External FX などの設定が正しく切り替わらないことがある不具合を修正しました。
- Cubase のプロジェクトファイルを開いたときに、MR816CSX/MR816X 入力設定画面の設定が正しく切り替わらないことがある不具合を修正しました。
- 複数の MR816 CSX/MR816 X を接続したときに、使用できないオーディオポートが表示されることがある不具合を修正しました。
- 複数の MR816 CSX/MR816 X を接続して Rev-X を使用しているときに、1 台の接続を外すともう 1 台の Rev-X の設定がリセットされることがある不具合を修正しました。
- Cubase が強制終了したときに、コンピューターを再起動しなければ連携機能が使用できないことがある不具合を修正しました。
- Sweet Spot Morphing Channel Strip および Rev-X の VST プラグイン画面で、VST プリセットが表示されない不具合を修正しました。
- Sweet Spot Morphing Channel Strip を VST プラグインとして使用しているときに、オートメーションが自動で書き込まれてしまうことがある問題を修正しました。
- MR816CSX/MR816X 入力設定画面と Sweet Spot Morphing Channel Strip や Rev-X などの

画面の間で、各エフェクトのパラメーターの表示値が異なる不具合を修正しました。

- その他軽微な不具合を修正しました。

V1.1.0 → V1.2.0

- Cubase 5 に対応しました。
- ヤマハ n8/n12 に対応しました。

Yamaha Steinberg FW Driver を削除する場合は、MR816 CSX/MR816 X セットアップガイドの「ソフトウェアのアンインストール」に記載しているファイルのほかに、次のファイルも起動ディスクから削除してください。/ライブラリ/Audio/MIDI Devices/Yamaha/Images/

FW_10000D.tiff

FW_10000E.tiff

- Intel 製プロセッサを搭載した機種 of 動作環境を、Mac OS X 10.4.9 以降に変更しました。10.4.8 以前のバージョンをお使いの場合は、10.4.9 以降にアップデートしてください。

その他の主なアップデート内容については、以下にプログラム別で説明します。

Yamaha Steinberg FW Driver

V1.0.0 → V1.1.0

- Intel 製プロセッサを搭載した機種において、4GB 以上のメモリーを使用する環境に対応しました。
- 複数台の MR816 CSX/MR816 X の接続または取り外しを行なうと、Yamaha Steinberg FW Driver のコントロールパネル上に機器の情報が正しく表示されない不具合を修正しました。

Steinberg MR Editor

V1.1.0 → V1.2.0

- 軽微な不具合を修正しました。

Steinberg MR Extension

V1.1.0 → V1.2.0

- Sweet Spot Morphing Channel Strip (以下「Channel Strip」)の設定画面を最小化にしたまま、VST コネクション画面で入力バスのプリセット設定を読み込むと、Cubase が異常終了する不具合を修正しました。
- Channel Strip の設定画面の MORPH ノブと MR816 CSX の「MORPH」を設定したマルチファンクションエンコーダーノブを同時に操作すると、Cubase が異常終了することがある不具合を修正しました。
- 再生中に「Digital I/O, External FX」の設定を切り替えると音が出なくなることがある不具合を

修正しました。

- 「Digital I/O, External FX」の設定を切り替えると MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面のヘッドフォン端子 1/2 のモニターソースの設定がリセットされることがある不具合を修正しました。
- サンプリング周波数または「Digital I/O, External FX」の設定が現在の設定と異なるプロジェクトファイルに切り替えた場合、MR816 CSX/MR816 X 入力設定画面が正常に表示されなくなることがある不具合を修正しました。
- プロジェクトファイルを切り替えた場合、MR816 CSX/MR816 X のヘッドフォン端子 1/2 から出力される信号として設定されたバスが切り替わらないことがある不具合を修正しました。
- VST コネクション画面のバスの変更が MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面のヘッドフォン端子 1/2 のモニターソースの設定値に反映されないことがある不具合を修正しました。
- VST コネクション画面で入力バスのプリセット設定を読み込んだ場合、MR816 CSX/MR816 X 入力設定画面が表示されないことがある不具合を修正しました。
- VST コネクション画面で出力バスを設定しても MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面の REV-X のリターンレベルのノブが表示されないことがある不具合を修正しました。
- MR816 CSX/MR816 X Hardware Setup 画面上でリバーブタイプを変更できないことがある不具合を修正しました。
- ヤマハ MOTIF XS などの Yamaha Steinberg FW Driver に対応した機器と MR816 CSX/MR816 X をデ이지ーチェーン接続した場合、接続する順番によって Cubase との連携機能が正常に動作しない不具合を修正しました。
- MR816 CSX/MR816 X 入力設定画面と REV-X/Channel Strip の設定画面にある同一パラメーターを、ショートカット操作([Ctrl]キーを押しながら該当パラメーターをクリック)によって初期値に設定した場合、設定値が各画面で異なることがある不具合を修正しました。
- ダイレクトモニタリングをオンにしている場合に、トラックのモニタリングボタンをオンにして再生すると、一瞬音が途切れる不具合を修正しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

V1.0.0 → V1.1.0

以下にプログラム別で説明します。

Steinberg MR Editor

V1.0.0 → V1.1.0

- Channel Strip の Morph パラメーターと Sweet Spot Data が VST プリセットデータとして保存される仕様に変更しました。
- ヘッドフォン端子から出力される信号としていずれかの出力信号が常に割り当てられている仕様に変更しました。

- REV-X のスライダーにマウスポインターを合わせると、パラメーター値が表示される仕様に變更しました。
- その他の軽微な不具合を修正しました。

Steinberg MR Extension

V1.0.0 → V1.1.0

- Cubase との連携機能を追加しました。
詳しくは、ダウンロードしたファイルに収録されている MR816 CSX/MR816 X オペレーションマニュアル(PDF)をご参照ください。

本文に掲載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

(C) 2010-2011 Yamaha Corporation All Rights Reserved.